



滑川宿まちなみ便り

NPO 法人 滑川宿まちなみ保存と活用の会

目次

1. あいさつ
 2. 2020年度行事スケジュール
 3. 2019年度行事報告
 4. 街中がんびり歳時記
 5. 滑川宿近況
- 付録 編集あとがき、情報発信状況

1. あいさつ

滑川宿の保存と活用の会では、初代理事長の城戸さんからバトンを引き継いで二代目理事長に就任いたしました。

思い起こせば、2010年5月には滑川宿にある古い町家の保存を目的に「滑川宿まちなみ保存と活用の会」を設立し、その後2013年3月にはNPOに移行させ、そして2020年は会として10周年、NPOとして7周年を迎えることができました。

この節目にあたり、心機一転と考えておりましたが、コロナ禍のために活動が停滞せざるを得なくなりました。ここは、地味な活動から気持ちを高めるとともに皆様の思いを形にしたいと、長らくご無沙汰となっております会報の刊行からまず始めます。

今後、コロナに負けず滑川宿の街を盛り上げていきますので、引き続き皆様方のご協力ご尽力の程、よろしくお祈りいたします。

滑川宿まちなみ保存と活用の会 理事長 金山彰夫

2. 行事スケジュール 2020年度

今年は、コロナ禍による中止のものを含めて主な行事を列挙します。

- (1) 5月 : 端午の節句(中止)
- (2) 5月24日 : 雪島神社祭り、NPO 総会(6/28に延期)
- (3) 6月 : 錦心流定期琵琶演奏会(中止)
- (4) 8月 : ベトナムランタン祭り(中止)
- (5) 10月11-18日 : 酒蔵アート
- (6) 11月初旬 : 文化週間、芋煮会
- (7) 3月初旬 : ひな祭り&演奏会

3. 行事報告 2019年度

毎年恒例の行事に加え、新たな行事もはいつております。滑川宿は大いに賑わいました。ただし、NPO主催のものばかりでなく、NPOが有形無形にかかわる「ぼんぼこさ」での行事をも含めて記します。

(1) 4月27日(土)滑川宿昭和祭り、約50人参加

昭和中葉に「滑川銀座」として栄えた瀬羽町の再興を願い、昭和の曲の歌合戦やディスコ体験が「ぼんぼこさ」の蔵で行われました。若い方々により蔵が興奮のるつぼと化していました。写真はHPより引用。



(2) 5月3-5日(金-日) : 端午の節句、約300人参加

同時開催 ライブコンサート(ハープ、ギター、ドラム)
会場には、五月人形(武者)やこいのぼりで飾られ、ひな祭りのような艶やかさとは違って、男気あふれるたくましさが増しておりました。



(3) 5月24日(金) : 雪島神社祭り、NPO 総会 30人程

神社の獅子が「ぼんのこさ」の土間まで入って来て舞って行きました。無形文化財は健在なり、でした。

(4) 6月1日(土) : 錦心流定期琵琶演奏会、約30人参加

琵琶の音色を堪能されていました。



(5) 6月：龍馬の会の北陸大会、北陸3県50人程参加

(6) 8月7日(水)

加州大聖寺藩参勤交代うおーく、滑川宿にて歓迎

加州人20人程、滑川人20人程参加

7/29に江戸を立って8/11着の大聖寺までの540km(13泊14日)を20人程でリレーしながらの一行を滑川宿で歓迎いたしました。滑川人も魚津から岩瀬まで加州の方々と共に歩き、参勤交代の殿様気分



浸りました。

北陸街道が結ぶご縁を楽しみました。

なお、写真は瀬羽町を歩く一行、「ぼんぼこさ」でスイカを食して休息、皆さん集合、のものです。

(7) 8月10-11日：ランタン祭り、1万人参加、30ブース



9回目を迎えたランタン祭りは、回を重ねるに従い参加者が増え、19年は1万人を突破しました。旧街道は来場者でごった返し、地域における伝統的かつ国際的なエネルギーで街は大いに賑わっていました。



(8) 9月27日(金)： 県芸術文化振興財団コンサート、ライブコンサート、約80人参加

(9) 10月13-20日(日-日) 酒蔵アート、約1600人参加





市内外の芸術家 15 人により、絵画、写真、書、造形、華、生け花、陶芸など作品総数 40 点程が、「ぼんぼこさ」の広間・座敷、蔵に展示され、約 1600 人もの来場者が大いに芸術を堪能されていました。

なお蔵では、ライブコンサートもありました。

(10)11月2-4日(土・月) 楽市楽座、約 300 人参加

芋煮会、養照寺での講演会と見学会

文化行事として一般市民向けの滑川宿に関する講演会と養照寺本陣見学(11/4)がありました。また、例年、山形大学の学生の皆さんがこの時期に山形名産の芋を持って駆け付け、「ぼんぼこさ」にて芋煮会(11/2)を催し、来場の皆さんが芋煮を美味しく食していました。

写真は本陣・庭の見学会、芋煮会、のものです。



(11)2月29日~3月3日(土・火) : ひな祭り、

約 300 人参加

コロナウイルス感染拡大を懸念して、今年は規模を縮小し、10 基程のおひな様セットを展示いたしました。コロナ禍のさなかでも、市民の方々が来場され、あでやかなお祭りを鑑賞されておられました。なお、幼稚園の子どもがおひな様を鑑賞している写真は 2019 年 3 月のものです。



4. 街中がんびり歳時記

(1)2月29日、他日も、伝統建築物改修のための視察
山形大の永井先生が有燐庵の改修について、大工棟
梁中野さんと打ち合わせ。1階の壁を板壁にするため
には、などの専門的な打ち合わせでした。



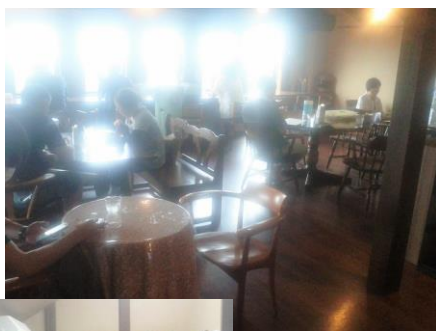
(2)2月下旬～3月上旬：理事が個人で海外勉強に

NPOの副理事長の小森さんが外国視察をされました。センスを研ぎ澄ましたく渡航されましたとのこと
です。滑川宿において、今後有形無形にセンスを発揮されること
でしょう。楽しみです。

5. 滑川宿近況

(1)「ぼんぼこさ」うみいろ

滑川宿にある「ぼんぼこさ」はいつでも開かれた活動の拠点です。「ぼんぼこさ」の蔵の二階にオープン
の喫茶「うみいろ」は連日、静かに賑わっております。NPOの方々が交代で店にたち奮戦されておられるから
です。最近カレーの日があり、美人マダムが頑張っておられます。



(2)大名御膳

加賀藩参勤交代で滑川本陣に宿泊した際の食事お品書きが2018年、城戸家から発見され、以降、お品書きの食事を実際に味わう、大名御膳と称するイベントが行われています。北日本新聞掲載の写真を引用。



付録1. 編集あとがき、「会報第2号発刊にあたり」

2014年に発刊したNPOの第1号の会報は、大変立派な体裁で活動の紹介や会員の声などを満載し、世に送りました。しかし、会報があまりにも立派過ぎて、後も続けようという声にながらなく出ずじまいでした。

今年になって、ようやく「立派でなくても簡単なものでもいいから会報を」といった声の内外から湧き上がり、会としてはこうした声に押される形で、手間のかからない編集を心がけ、会報発刊に取り組みことになりました。こうして出来た会報が第2号です。皆様、いかがでしょうか。

編集方針としては、年1～3回の発刊で、A4版両面、行事の報告を主にして、活動の紹介ならびに集う皆様方の活力をお届けすることにします。今後ともよろしくお願いたします。(by 編集班)

付録2. NPOから皆様へのご案内発信(情報発信状況)

(1)パンフレット

- ・2010年発行
- ・2018年発行(山形大の永井先生監修)

(2)会報

- ・滑川宿まちなみ便り 創刊0号 2010.5刊、
- ・滑川宿まちなみ便り 第1号 2011.5刊
- ・滑川宿まちなみ便り 第2号 2012.1刊、
- ・滑川宿まちなみ便り 第1号 2014.4刊 NPOで初
- ・滑川宿まちなみ便り 第2号 2020.6刊 NPO2報

(3)FBとHP 「滑川宿まちなみ保存と活用」で検索下さい

- ・FB：ホットな最新話題が盛りたくさん。

<https://www.facebook.com/namerikawa.machinami/>

- ・HP これまでの活動の記録を格納しています。

<http://buna.html.xdomain.jp/namerikawa-index.html>